

# 工事成績評定表及び工事成績評点の考査項目別運用表

## 目 次

### 工事成績評定表

様式－1	1
------	---

---

### 工事成績評点の考査項目別運用表

別紙－1 (検査立会人)	3
別紙－2 (総括監督員)	18
別紙－3 (検査員)	25
別紙－4 (記入方法及び留意事項)	58

# 工事成績評定表

工 事 名	
受 注 者	
工 事 場 所	
検 査 年 月 日	

建設産業部長	担当課長	担当係長	監理課長	庶務係長	庶務係長

考查項目		立会人					総括監督員					検査員(中間)					検査員(完成)										
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																					
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																					
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0														
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0														
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-5.0	-5.0																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-5.0	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-5.0	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件への対応※2						+20.0~0																				
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3	+7.0~0																									
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		十一 . 点					十一 . 点					十一 . 点					十一 . 点										
評定点(65±加減点合計)※1		① . 点					② . 点					③ . 点					④ . 点										
7. 評定点計		_____ 点					・ 中間検査があった場合 ①×0.4+②×0.2+③×0.2+④×0.2 ・ 中間検査が無かった場合 ①×0.4+②×0.2+③×0.4																				
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等						- . 点																				
	II. 評価内容の担保						- . 点																				
9. 市内業者等の活用・育成							. 点																				
10. 評定点合計(7-8+9)		点(四捨五入により整数とする)																									
所見※4		(立会人)					(総括監督員)					(検査員)															

平成 年 月 日

検査指導員

検査員(職名) ( ) ㊟  
 -----  
 検査立会人(職名) ( ) ㊟

※1 各評定点(①~④)は小数点第1位まで記入。  
 ※2 工事特性は、当該工事の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。  
 評価に際しては、立会人からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。  
 ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。  
 ※4 所見は特記事項のある場合に記載する。  
 ※5 立会人の考查項目(細別)のうち、「I出来形」、「II品質」については、検査員が評価するものとする。  
 ※6 各考查項目ごとの採点は、立会人は別紙-1、総括監督員は別紙-2、検査員は別紙-3によるものとする。

細目別評定点採点表

工事名：

項目	細別	①検査立会人	②総括監督員	②検査員(中間)	③検査員(完成)	細目別評定点	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) × 0.4 + 3.25 = 3.650 点				3.650 点 3.650 点	
	II. 配置技術者	(3.0) × 0.4 + 3.25 = 4.450 点				4.450 点 4.450 点	
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点		(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	13.350 点 13.350 点	
	II. 工程管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点	(2.0) × 0.2 + 6.5 = 6.900 点			11.750 点 11.750 点	
	III. 安全対策	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点	(3.0) × 0.2 + 6.5 = 7.100 点			12.350 点 12.350 点	
	IV. 対外関係	(2.0) × 0.4 + 3.25 = 4.050 点				4.050 点 4.050 点	
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点		(10.0) × 0.2 + 3.25 = 5.250 点	(10.0) × 0.2 + 3.25 = 5.250 点	15.350 点 15.350 点	
	II. 品質	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点		(15.0) × 0.2 + 3.25 = 6.250 点	(15.0) × 0.2 + 3.25 = 6.250 点	17.750 点 17.750 点	
	III. 出来ばえ			(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	8.500 点 8.500 点	
4. 工事特性	I. 施工条件の対応		(20.0) × 0.2 = 4.000 点			4.000 点 4.000 点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) × 0.4 = 2.800 点				2.800 点 2.800 点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) × 0.2 = 2.000 点			2.000 点 2.000 点	
7. 評定点		40.000 点	20.000 点	20.000 点	20.000 点	100.000 点 100 点	
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等		(0.0) 0.000 点				
	II. 評価内容の担保		(0.0) 0.000 点				
9. 市内業者等の 活用・育成	I. 市内下請	0.000 点					
	II. 直営施行	0.000 点					
※中間検査があった場合 ①+②+③×0.5+④×0.5=細目別評定点 中間検査がなかった場合 ①+②+④=細目別評定点						10. 評定点合計	100 点

細目別評定点採点表

工事名：

項目	細別	①検査立会人	②総括監督員	②検査員(中間)	③検査員(完成)	細目別評定点	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) × 0.4 + 3.25 = 3.650 点				3.650 点 3.650 点	
	II. 配置技術者	(3.0) × 0.4 + 3.25 = 4.450 点				4.450 点 4.450 点	
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点			(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.500 点	13.350 点 13.350 点	
	II. 工程管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点	(2.0) × 0.2 + 6.5 = 6.900 点			11.750 点 11.750 点	
	III. 安全対策	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点	(3.0) × 0.2 + 6.5 = 7.100 点			12.350 点 12.350 点	
	IV. 対外関係	(2.0) × 0.4 + 3.25 = 4.050 点				4.050 点 4.050 点	
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点			(10.0) × 0.4 + 6.5 = 10.500 点	15.350 点 15.350 点	
	II. 品質	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点			(15.0) × 0.4 + 6.5 = 12.500 点	17.750 点 17.750 点	
	III. 出来ばえ				(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.500 点	8.500 点 8.500 点	
4. 工事特性	I. 施工条件の対応		(20.0) × 0.2 = 4.000 点			4.000 点 4.000 点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) × 0.4 = 2.800 点				2.800 点 2.800 点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) × 0.2 = 2.000 点			2.000 点 2.000 点	
7. 評定点		40.000 点	20.000 点		40.000 点	100.000 点 100 点	
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等		0.000 点				
	II. 評価内容の担保		(0.0) 0.000 点				
9. 市内業者等の 活用・育成	I. 市内下請	0.000 点					
	II. 直営施行	0.000 点					
※中間検査があった場合 ①+②+③×0.5+④×0.5=細目別評定点 中間検査がなかった場合 ①+②+④=細目別評定点						10. 評定点合計	100 点

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制 一般	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち施工体制一般について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事実績情報サービス（CORINS）への登録は監督職員の確認を受けた上で契約（変更、完成）後10日以内に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約図書に規定する書類が期限日までに提出されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 決められた項目を記載された施工計画書を工事着手前に提出している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書を変更毎に速やかに提出している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明の関係書類・出来形・品質等の確認を工事全般にわたって実施し品質証明に係る体制が有効に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 指示に対して対応が速やかである。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害・事故等が発生した場合の対応が速やかである。</li> <li><input type="checkbox"/> 製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内のチェック体制（施工管理・検査・安全パトロールなど）が確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度について証紙の購入・下請業者・作業員等への主旨説明・受払い簿等による配布管理の上、監督職員に資料の提示を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設業許可票・労災保険関係立票・施工体系図・緊急連絡等を公衆に見えやすい場所に掲げ施工計画書及び現場と一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 <span style="font-size: 2em;">}</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">理由：</div> </li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- b</p> <p>評価値が80%未満----- c</p>			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者 (現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち配置技術者について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 就業制限（免許・技能講習・特別教育）の確認が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置している。（労働安全衛生法第14条）</p> <p><input type="checkbox"/> 専門技術者を専任し配置している。（建設業法第26条）</p> <p><input type="checkbox"/> 書類整理・資料整理が適切に処理されている。</p> <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人が工事全体を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員への報告・協議等、適時及び的確に書面で行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 人的現場条件の変更対応また地元調整等を主体的に行った。</p> <p>【監理（主任）技術者を評価する項目】</p> <p><input type="checkbox"/> 監理（主任）技術者が工事全体を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書・設計図書・適用すべき諸基準等を理解し施工に反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件（作業環境・気象・地質等）への対応を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し施工に関する指示を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 明確な根拠に基づいた技術的な判断に優れた良好な施工に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由：_____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満--- b</p> <p>評価値が80%未満----- c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち施工管理について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号～5号に係わる設計図書の見直しを行い監督職員の承認を受けて施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が設計図書及び現場条件を反映したものとなっており速やかに提出している。 (当初・変更・追加)</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して適切に対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品等の材料搬入時に外観・寸法確認が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事材料(二次製品・土砂・砕石等)の品質に影響が無いよう保管及び使用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時・的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時・的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 段階確認・立会の申請が適切な時期に書面で行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 段階確認及びその報告が適時・的確に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用材料の品質証明書及び写真等を整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事打合せ簿等の工事記録の整備が適時・的確になされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工区域内(現場内・資材置き場)現場周辺の清掃・跡片付けが日常的に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請業者に対する実質的関与が明確である。</li> <li><input type="checkbox"/> 測量や品質管理を行う機器又は工具の検査記録が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事全般において低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</li> </ul>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- b</p> <p>評価値が80%未満----- c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	II. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち工程管理について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約日より30日以内に準備工事に着手している。(工事開始日の指定がある場合には指定日より)</li> <li><input type="checkbox"/> 現場環境を反映した工程表を作成している。</li> <li><input type="checkbox"/> 資機材の使用計画及び調達計画が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> フォローアップを行っており適切に管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり施工の停滞が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり大きな工程の遅れが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常的に履行報告(週報・日報等を含む)を作成し詳細な施工記録が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 履行報告書を提出し適切に工程の管理を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み遅れを発生させることなく工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための施工方法等工夫を行い工程の遅れが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより休日や夜間工事の回避等を行い作業時間も守った。</li> <li><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 [ 理由: _____ ]</li> </ul>				<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満--- b</p> <p>評価値が80%未満----- c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(        %) = 該当項目数(        ) / 評価対象項目数(        )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	細別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち安全対策について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害防止（工事安全）協議会等を1回/月以上行い記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全巡視・TBM・KY等を実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に当該工事の現場特性を反映し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 過積載防止の取り組みを実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書に記載した仮設工等の点検及び管理をチェックリスト等を用いて実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理書類が適正に整理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を各種基準及び関係者間の協議に基づき実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用機械・車両等の点検整備をチェックリスト等を用いて実施し記録・写真が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 重機操作に際して誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業員休憩所の設置等、作業環境の改善に努めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }</li> </ul> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上----- a</li> <li>評価値が80%以上90%未満--- b</li> <li>評価値が80%未満----- c</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	IV. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち対外関係について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁・民間事業者と事前調整を行いトラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元への事前周知及び事前対策を行いトラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣工事及び関連工事との調整を行い工事全体の円滑な進捗に寄与している。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者・通行車両を優先させて施工し児童の通学や家屋への出入りに特段の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }</p>			<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- b</p> <p>評価値が80%未満----- c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

【別紙-1⑦は検査員が評価し評価結果を記入する】 ( 立会人 )

調査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。  ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 出来形の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。                      ② 出来形とは、設計図書に示された工事事務物の形状及び寸法をいう。                      ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。                      ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。                 </div>					
工種	a	b	c	d	e
機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ ばらつきによらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に指定された竣工図・完成図書・データ等が提出されている。 <input type="checkbox"/> 製品の形状・寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり満足している。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 出来形計測時に出来形書類（出来形図・管理図・管理図表・出荷伝票等）と現地が一致している。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗・損傷等について整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>					

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

【別紙-1⑧は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ  I. 出来形	建築工事 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 解体工事  ※ ばらつきによ らず、当該欄 で評価	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ たため、監督職員が文 書で指示を行い改善さ れた。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基 づき、監督職員が改造 請求を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に指定された竣工図・完成図書・データ等が提出されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果がその都度管理図表などに記録され適切に管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切に行われており出来形の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足しバラツキが少ないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形の性能・機能が設計値（設計図書）を満足しバラツキが少ないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを定期的実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品の形状・寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の据付・固定方法が設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形計測時に出来形書類（出来形図・管理図・管理図表・出荷伝票等）と現地が一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 [理由:]</li> </ul>				
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上----- a</p> <p>評価値が60%以上80%未満---- b</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

【別紙-1⑨は検査員が評価し評価結果を記入する】 ( 立会人 )

審査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。                      ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。                      ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質管理のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。                      ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。                 </div>				
機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ ばらつきによらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認でき満足している。 <input type="checkbox"/> 材料の仕様が材料承認・出荷証明等により確認ができる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質・機能及び性能が設計図書を満足して成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> ボルト・アンカー等の設置が承諾図書のとおり施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され内容が確認でき満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管・電気配線・配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の設置・接合等について耐震又は耐火性能等を確認し施工している。 <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ハルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 名板等を設置し維持管理時への配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 改修工事の場合、設備の機能が確保できるよう既存構造物のコンクリート強度等の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 付属品の納品・保管等が不足なく行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 工事写真・施工記録等において設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 [ 理由: _____ ]			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>	

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

【別紙-1⑩は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

考查項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	建築工事 (新築・改修)  ※ ばらつきによらず、当該欄で評価	<p>適切である</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されそれが書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が工事写真・施工記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で適切に管理しそれが書類等で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を把握し施工方法等について提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 性能及び機能に関する確認方法が適切であり記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における確認及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図等において利用者に対して使いやすさを考慮している。</li> <li><input type="checkbox"/> メンテナンスが容易に行えるよう管理資料を作成している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備工事等他工事について調整が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 完了時の確認及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上----- a</p> <p>評価値が60%以上80%未満---- b</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

【別紙-1①は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質	※ ばらつきによらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 製作着手前に品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質・機能及び性能が設計図書を満足して成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が設計図書の仕様を満足しているとともに必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合・修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器運転の試験結果がまとめられており要求性能が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> メンテナンスが容易に行えるよう管理資料が作成されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 工事写真・施工記録等において設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 改修工事の場合、設備の機能が確保できるよう既存建造物のコンクリート強度等の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 [ 理由: _____ ]				
		●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

【別紙-1⑪は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

調査項目	工種	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持・修繕工事 ※ ばらつきによらず、当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上----- a</p> <p>該当項目が4項目以上----- b</p> <p>該当項目が3項目以上----- c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

審査項目	細別	工夫事項	
5. 創意工夫	I. 創意工夫 【土木】	<p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 土工・地盤改良・橋梁架設・舗装・コンクリート打設等の施工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止・配管のつなぎ等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 仮排水・仮道路・迂回路等の計画的な施工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 支保工・型枠工・足場工・仮橋・覆工板・山留め等の仮設工に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の締固度・杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成・写真の管理等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測・集計・管理図等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト・土量管理システム等の活用に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報化施工技術（一般化推進技術、実用化検討技術及び確認段階技術に限る）を活用した工事。 (使用原則化工事を除く。) <b>※本項目は、2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</li> </ul> <p>【新技術活用】</p> <p>「新技術活用」においては、以下の5項目により、複数の技術の評価を可能とするが、最大3点の加点とする。以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 <b>※本項目は、3点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 <b>※本項目は、2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術程度確認できた。 <b>※本項目は、1点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 <b>※本項目は、2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 <b>※本項目は、1点の加点とする。</b></li> </ul> <p>※ ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「有用とされる技術」をいう。</p> <p><b>※ 複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、当該技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加算とする。</b></p>	<p>【安全衛生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 <b>※本項目は、2点の加点とする。</b></li> <li><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物・墜落・転落・挟まれ・看板立入禁止柵・手摺り・足場等)</li> <li><input type="checkbox"/> 安全教育・技術向上講習会・安全バトロール等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場事務所・労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減対策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。</li> </ul> <p>【品質】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の高品質向上に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： _____)</li> </ul>
	記述評価 (シマークを付した 評価内容を詳細記述)	<p>【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載</p> <p>評 点： _____ 点    <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つシが付されれば1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※4. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。



【記入方法】 該当する項目の口にしを記入する。

【別紙-1⑨は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

審査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。                      ② 品質とは、設計図書に示された工事的物の規格である。                      ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質管理のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。                      ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。                 </div>				
工種	a	b	c	d	e
( ) 工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ ばらつきによらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>	

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

考查項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み遅れを発生させることなく工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み遅れを発生させることなく工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより休日や夜間工事の回避等を行い地域住民に対する影響を最小限とした。</li> <li><input type="checkbox"/> 特に工期・期日等の制約がある場合において工期内に工事を完了させた。</li> <li><input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において工程管理を的確に行ない工期内に工事を完成させた。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }</li> </ul> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p>					
	Ⅲ. 安全対策	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し組織的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するために積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全協議会の活動に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }</li> </ul> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p>					

〔記入方法〕 該当する項目の口にしを記入する。

審査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 【土木】	I. 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ・延長・施工(断)面積・施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることから施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。	(1. について) ・切土の土工量：1万㎡以上、盛土の土工量：5,000㎡以上(ため池の場合1,000㎡以上)、護岸・築堤の平均高さ：5m以上、擁壁・ブロック：直高5m以上かつ延長20m以上、トンネル(シールド)の直径：1,000mm以上、推進延長：1スパン100m以上、マンホール深さ：10m以上、ダム用水門の設計水深：3m以上、樋門又は樋管の内空断面積：5㎡以上、揚排水機場の吐出管径：500mm以上、トンネル(開削工法)の開削深さ・延長：深さ2.5m以上かつ延長50m以上、海岸堤防・護岸・突堤又は離岸堤の水深：5m以上、地滑り防止工：幅30m以上かつ法長30m以上、浚渫工の浚渫土量：1万㎡、流路工の計画高水流量：100㎡以上、砂防ダムの堤高：5m以上、ダムの堤高：20m以上、法面工：直高20m以上又はグラウンドアンカーによる法面、橋梁上部工：ポストテンション・プレキャスト・鋼床版、橋梁下部工：構造物の直高10m以上又は杭基礎を有する構造、現場打Boxの内空断面：25㎡以上。 (2. について) ・砂防工事などにおいて現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形・近接構造物・地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により作業条件・工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管・水道管・電話線等の支障物件の移設について施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地(DID地区)での夜間工事。 ・店舗営業へ配慮が必要な工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・工事期間中の大半にわたって交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業がありその作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。(3ヶ所以上かつ1ヶ所以上が1km以上離れている工事) (10. について) ・施工ヤードの広さや高さ制限があり機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その後周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		III 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高くウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (12. について) ・その他気象条件により見込まれた不稼働日より稼働日が確保できない工事。 (13. について) ・急峻な地形のため作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く) ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (14. について) ・イヌワジ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 16. 当初工期が12ヶ月を超える工期で事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 17. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。	(16. について) ※工期延期をして超えた場合は評価しない。
	評価	評点： _____ 点 <input type="checkbox"/> 該当なし	【工事特性のキーワードの詳細】 _____ _____ _____

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。  
 ※2. 立会人が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。  
 ※3. 評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 【建築】	I. 施工条件等 への対応	I 施工規模の大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ・施工面積等の規模 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状の複雑さ <input type="checkbox"/> 3. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ面積3,000㎡以上の建物</li> <li>・地上5階以上の建物</li> <li>・大空間のホール等を有する建物</li> <li>・研究所等・特殊設備・機能を有する建物</li> <li>・施設使用を伴う条件がある工事</li> </ul>
		II 構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 4. 対象構造物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 6. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</li> <li>・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・耐震及び免震構造の工事</li> <li>・敷地内又は周辺部の工作物・配管・配線等の大規模な移設切り直しを行った工事</li> <li>・仮設備等を設け配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事</li> <li>・休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事</li> </ul>
		III 技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 7. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 8. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 9. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所や構造物の特異性に対するための新技術・新工法を採用した工事</li> <li>・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事</li> <li>・その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等</li> <li>・特殊な設備システムを採用した工事</li> <li>・V E提案された工法等が高度技術で評価できる場合</li> </ul>
		IV 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 10. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 11. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 12. 工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> 14. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水位が高くウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事</li> <li>・冬期施工のため大規模な雪寒冬囲いをする必要があり冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事</li> <li>・施工ヤードが狭く高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</li> <li>・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり特に評価すべき技術があると評価された工事</li> </ul>
		V 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・共用中の道路・架空線・建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制約 <input type="checkbox"/> 20. 環道上で特に交通規制及びその処理に伴う作業 <input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策・廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 22. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事</li> <li>・工事の実施にあたり各種の制約があり工程的にも特に厳しく施工の制限を受けた工事</li> <li>・工事に先立ち又は施工中で監視・観測等の結果に基づき工法変更を行った工事</li> <li>・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事</li> <li>・大気圧を超える気圧下の作業での工事</li> <li>・酸欠・有毒・可燃ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上（10m以下）での工事</li> <li>・工程上他工事の制約を受け機械・人員の増強を行った工事</li> <li>・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事</li> <li>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり特に評価すべき技術があると評価された工事</li> </ul>
		VI 施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 23. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策・廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 24. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応策 <input type="checkbox"/> 25. その他 (理由: _____) ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり特に評価すべき技術があると評価された工事</li> <li>・特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の受注者が複数ある工事</li> <li>・外来者の多い施設で作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</li> </ul>
	VII その他 <input type="checkbox"/> 26. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項 (理由: _____) ※上記の対応事項にし点が付けば2点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、施工及び工法等優れた技術力及び能力として評価する技術</li> </ul>	
評価	評点： _____ 点 <input type="checkbox"/> 該当なし	【工事特性のキーワードの詳細】	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 立会人が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への 貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど積極的に周辺地域との調和を図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 道路・水路清掃などを積極的に実施し地域に貢献した。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し地域とのコミュニケーションを図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 地場産業活性化に係る取組みが顕著である。(資材購入)</li> <li><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害協定を結んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>※上記該当項目を総合的に判断して、a, a', b, b', c評価を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>				

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

審査項目	細別	法令遵守等の該当項目一覧																					
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="562 185 1391 212">措置内容</th> <th data-bbox="1391 185 1543 212">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="562 212 1391 239">□ 1. 指名除外3ヶ月以上</td> <td data-bbox="1391 212 1543 239">-20点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 239 1391 266">□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td data-bbox="1391 239 1543 266">-15点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 266 1391 293">□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td data-bbox="1391 266 1543 293">-13点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 293 1391 320">□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満</td> <td data-bbox="1391 293 1543 320">-10点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 320 1391 347">□ 5. 文書注意</td> <td data-bbox="1391 320 1543 347">-8点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 347 1391 375">□ 6. 口頭注意</td> <td data-bbox="1391 347 1543 375">-5点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 375 1391 434">□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合</td> <td data-bbox="1391 375 1543 434">-3点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 434 1391 493">□ 8. その他 (理由: _____)</td> <td data-bbox="1391 434 1543 493">-点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="562 493 1391 523">□ 9. 項目該当なし</td> <td data-bbox="1391 493 1543 523"></td> </tr> </tbody> </table>	措置内容	点数	□ 1. 指名除外3ヶ月以上	-20点	□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満	-10点	□ 5. 文書注意	-8点	□ 6. 口頭注意	-5点	□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	-3点	□ 8. その他 (理由: _____)	-点	□ 9. 項目該当なし		<p>① 本審査項目(8. 法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名・工期・施工場所)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人・監理技術者・主任技術者・品質証明員・請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</li> <li>2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</li> <li>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員・準構成員・企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利・砂・防音シート・軍手等の物品の納入・土木作業員やガードマンの受け入れ・土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> <li>15. 工事に係る施工体制、品質・出来形等で隠匿または隠滅が発覚した。</li> <li>16. 下請け業者を市内業者以外にさせた(市外業者が許可されたものは除外)</li> </ol>
措置内容	点数																						
□ 1. 指名除外3ヶ月以上	-20点																						
□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																						
□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																						
□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満	-10点																						
□ 5. 文書注意	-8点																						
□ 6. 口頭注意	-5点																						
□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	-3点																						
□ 8. その他 (理由: _____)	-点																						
□ 9. 項目該当なし																							

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

審査項目	細別	総合評価方式における価格以外のその他の条件に係る評価内容の担保一覧																																														
8. 法令遵守等	II. 評価内容の担保	<table border="1"> <thead> <tr> <th>各評価項目の履行状況</th> <th>点数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 施工計画の実施手順 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 工期設定の適切性 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 「施工に関する課題」に対する技術提案 理由: _____</td> <td>-5点 -10点 -15点</td> <td>1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 「品質に関する課題」に対する技術提案 理由: _____</td> <td>-5点 -10点 -15点</td> <td>1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 「_____に関する課題」に対する技術提案 理由: _____</td> <td>-5点 -10点 -15点</td> <td>1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する資格 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 過去の工事成績3件の平均点 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 過去の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 施工経験工事の従事役職 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続教育（CPD）の取組み 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他 理由: _____</td> <td>- 5点</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 該当なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>本評価項目で評価する事例は、「総合評価方式で発注した工事の施工にあたり、価格以外のその他の条件に係る評価内容に対し、次の適応事例があった」場合に適用する。 ただし、受注者の責によらないものを除く。 【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「工事の手順が適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとして手順で工事を実施しなかった場合</li> <li><input type="checkbox"/> 「各工程の工期が適切で、工夫があり、工期短縮が見られる」と評価した工事について、工夫するとして施工計画を実施しなかった場合。 または、実施したが工期を短縮できなかった場合</li> <li><input type="checkbox"/> 「施工に関する課題」に対する各技術者提案について、実施しなかった場合</li> <li><input type="checkbox"/> 「品質に関する課題」に対する各技術者提案について、実施しなかった場合</li> <li><input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する資格、専門資格、過去の工事成績、過去の同種・同規模工事の施工経験、経験工事の従事役職、継続教育（CPD）の取組み等の各評価内容について評価した工事において、評価した配置予定技術者と異なる技術者を配置した場合で、当該技術者の各得点が配置予定技術者の得点を下回る評価内容がある場合</li> <li><input type="checkbox"/> その他 理由: _____</li> </ul>	各評価項目の履行状況	点数	備考	<input type="checkbox"/> 施工計画の実施手順 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 工期設定の適切性 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 「施工に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする	<input type="checkbox"/> 「品質に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする	<input type="checkbox"/> 「_____に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする	<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する資格 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 過去の工事成績3件の平均点 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 過去の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 施工経験工事の従事役職 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 継続教育（CPD）の取組み 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> その他 理由: _____	- 5点		<input type="checkbox"/> 該当なし			
各評価項目の履行状況	点数	備考																																														
<input type="checkbox"/> 施工計画の実施手順 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 工期設定の適切性 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 「施工に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする																																														
<input type="checkbox"/> 「品質に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする																																														
<input type="checkbox"/> 「_____に関する課題」に対する技術提案 理由: _____	-5点 -10点 -15点	1提案につき-5点とし、下限値を-15点とする																																														
<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する資格 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 主任（監理）技術者の保有する専門資格 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 過去の工事成績3件の平均点 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 過去の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 施工経験工事の従事役職 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 継続教育（CPD）の取組み 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> その他 理由: _____	- 5点																																															
<input type="checkbox"/> 該当なし																																																
	評価	<p>評点： - 点</p> <p>※ ・総合評価方式における価格以外のその他の条件に関して、受注者の責により、評価の内容が満足されなかった場合、減点評価する。 ・各評価項目の減点の累計について下限値は設けない。</p>																																														

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考査項目	細別	市内業者等の活用・育成の該当項目一覧							
8. 市内業者等の活用・育成	市内下請	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>上記条件を満たしていない</td> <td>0点</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	点数	工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上	2点	上記条件を満たしていない	0点	<input type="checkbox"/> 項目該当なし  「建設工事における市内業者等の活用・育成についての報告書」の提出があった場合に適用し、提出がない場合には「項目該当なし」とする。
	項 目	点数							
	工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上	2点							
上記条件を満たしていない	0点								
直営施工	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>上記条件を満たしていない</td> <td>0点</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	点数	直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）	2点	上記条件を満たしていない	0点	<input type="checkbox"/> 項目該当なし  ①発注対象を市内業者に限定した土木一式工事及び舗装工事の場合に適用する。 ただし、「とび・土工・コンクリート」については、内容により評価する。 ②「建設工事における市内業者等の活用・育成についての報告書」の提出がない場合には、「項目該当なし」とする。	
項 目	点数								
直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）	2点								
上記条件を満たしていない	0点								
評 価	評点： _____ 点 ※ ・最大4点の加点評価とする。 ・評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。								

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている			
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の見直しを行っていることが書類及び写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され所定の項目が記載されているとともに設計図書の内容及び現場条件を反映したのものとなっていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品等の材料搬入時に外観確認が行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料確認・段階確認が適時書面での確に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用材料の品質証明及び写真等が整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容での確に整備していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度について、証紙の購入・受け払い簿等による配布管理の上、監督員に資料提示等を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請に対する引取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事記録写真等の整理に工夫がみられる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の経緯が分かるよう工事打合せ簿を整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。</li> <li><input type="checkbox"/> 検査時に現場代理人及び監理(主任)技術者が適切に説明を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</li> </ul>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>			
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上----- a</p> <p>評価値が60%以上80%未満---- b</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（           ％）＝該当項目数（           ）／評価対象項目数（           ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	1. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の5項目以上が該当する。	2. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	3. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	4. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	5. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形変更の必要が生じた場合、受注者からの協議が行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形計測時に出来形書類（出来形図・管理図・管理図表・出荷伝票等）と現地が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に示された竣工図・完成図書・データ等が期日までに提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>								
<p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>								
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	機械設備工事 ※ ばらつきによらず、当該欄で評価	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 掘付に関する出来形管理が容易に把握できるよう出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 性能・機能等を変更する必要が生じた場合、受注者からの協議が行われたことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形計測時に出来形書類（出来形図・管理図・管理図表・出荷伝票等）と現地が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かりやすく堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗・損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に指定された竣工図・関係図書・完成図書・データ等が期日までに提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満---- b</p> <p>評価値が60%以上70%未満---- b'</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>								
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>								

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	建築工事 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 解体工事  ※ ばらつきによらず、当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足しバラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足しバラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付・固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書とおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形計測時に出来形書類（出来形図・管理図・管理図表・出荷伝票等）と現地が一致している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき適切な処分をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に指定された竣工図・完成図書・データ等が期日までに提出されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満--- a' 評価値が70%以上80%未満--- b 評価値が60%以上70%未満--- b' 評価値が60%未満----- c					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>		

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋等・材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 水抜きパイプの位置・数量等が検討され的確に設置されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		
		<table border="1"> <tr> <td>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </td> </tr> </table>					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																													
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																				

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	土工事 (切土, 盛土, 堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 購入土の品質を使用前に確認し施工していることが確認できる。(材料の品質規格証明書が整備されている) <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験等、現場土質試験に基づき適切な施工方法及び材料を使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝及び種子材等を適切に保管し管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 切取法面において落石等の危険が無いように緩んだ転石・岩塊等が除去されている。 <input type="checkbox"/> 残土の処理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																			
		●判断基準				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注: 試験結果の打点数等が少なくはらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<table border="1"> <tr> <td>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </td> </tr> </table>				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																															
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	河川・護岸・水制工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p>□ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>□ コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>□ 支持地盤の確認ができる資料がある。</p> <p>□ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>□ 裏込材及び胴込コンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。</p> <p>□ 緑化ブロック・石積（張）・法枠・かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。</p> <p>□ 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。</p> <p>□ 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 鉄筋等・材料の品質が証明書類で確認できる。</p> <p>□ 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 植生工で植生の種類・品質・配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 根固工・水制工・沈床工・捨石工等において材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>□ 基礎工において掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</p> <p>□ コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</p> <p>□ 施工にあたって床掘箇所の湧水及び滞水等は排除して施工していることが確認できる。</p> <p>□ 埋戻材料について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 有害なクラックが無い。</p> <p>□ その他</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																												
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																		

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構 造物に準じる)	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目 【工場製作関係】</p> <p>□ 鋼材の種別・品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなどきめ細やかに製作していることが確認できる。 □ 欠陥部の発生がない。 □ 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 □ 素地調整を行う場合、ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □ 塗料の使用量が写真等で確認できる。 □ 塗料の品質が出荷証明書・塗料成績表により製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 □ その他 (理由: _____)</p> <p>【架設関係】</p> <p>□ ボルトの締付確認が実施され記録を保管していることが確認できる。 □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □ 高力ボルトの締付を中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ 高力ボルトの品質が証明書類で確認できる。 □ 支承の据付でコンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 □ 架設にあたって部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質・性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 □ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ 現場塗装において温度・湿度・風速等の確認を行っていることが確認できる。 □ その他 (理由: _____)</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c		
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																			

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ  II. 品質	砂防構造物工事及び 地すべり防止工事 (集水井工事を 含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に打継目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋等・材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> かご工・排水構造物が仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（      ％）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のプルフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床面・下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において一層の仕上がり厚を規定値以下とし各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めがタンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時・現場到着時・舗設時等においてアスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 乳剤散布が均一かつ適量で全面に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置・構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって気象条件（天候・気温等）を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 平坦性及び施工面が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスカーブの施工において細やかな配慮がなされ丁寧に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路肩処理・縁端処理の施工において細やかな配慮がなされ丁寧に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び雪中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装金網が適切に配置してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 平坦性及び施工面が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。
- ③ 評価値（ % ）＝当該項目数（ ）／評価対象項目数（ ）
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法砕工・コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカー・止め釘・スパーサーなどが設計図書どおり施工されていることが確認できる。（公称径・強度・長さ・本数・バランス等） <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）  【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が設計値以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネット等の設置にあたり法面への固定方法が適切である。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質・配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）  【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が設計値以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）  【現場打砕工関係（プレキャスト法砕工含む）】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類・品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーが確実に固定されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、かし担保による修補又は損害賠償請求を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													
							<input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 伸縮目地の位置が設計図書どおり施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水抜パイプの位置・数量が設計図書どおり施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網等の設置にあたり法面への固定方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。																										
							<input type="checkbox"/> 水抜パイプの位置・数量が設計図書どおり施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内の排水処理が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。																										

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	水道工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 管接合が適切に接合されたことが確認できる。</li> <li>□ 管体及びポリエチレンスリーブが傷つかないで施工されたことが確認できる。</li> <li>□ 通水機能に支障がないように施工されたことが確認できる。</li> <li>□ 明示テープ及び明示シートが適切に施工されていることが確認できる。</li> <li>□ 堀削面を過掘することなく施工基面が平滑に仕上げられている。また転石があれば除去していることが確認できる。</li> <li>□ 埋戻が適切に管理（転圧機械・仕上厚・水替等）されていることが確認できる。</li> <li>□ 離脱防止金具が規定どおり設置されていることが確認できる。</li> <li>□ BOX・弁類等が規定どおりに施工されていることが確認できる。</li> <li>□ 工事用材料が適切に保管されていることが確認できる。</li> <li>□ 水圧試験により規定の水密性が確保されていることが確認できる。</li> <li>□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</li> <li>□ 使用材料の品質が写真及び品質証明等で確認できる。</li> <li>□ 掘削深・掘削幅が設計図書に忠実に確保されている。</li> <li>□ 管周基礎材の埋戻を適切に行っている。</li> <li>□ 管内への土砂等侵入防止対策が施されていることが確認できる。</li> <li>□ 継ぎ手部の接合（挿入長・締め付けトルク・融着手順等）が適正に行われ、写真・チェックシート等を整備していることが確認できる。</li> <li>□ 切管部が規定どおり加工されていることが確認できる。</li> <li>□ 他の埋設物等の離隔が確保されていることが確認できる。</li> <li>□ 添架工事において鉄筋深査などの調査を行いアンカーが適正な位置に施工されていることが確認できる。</li> <li>□ 仮設工（山留工・支保工等）の施工が適切に行われていることが確認できる。</li> <li>□ 矢板の設置が適切（施工計画との整合、地山との隙間処理（裏込め等））であることが確認できる。</li> <li>□ 路面仮復旧の日々の管理が良好に行われていることが確認できる。</li> <li>□ 路面本復旧が適切（材料・仕上厚・密度等）に行われていることが確認できる。</li> <li>□ その他（理由：_____）</li> </ul>						
		<p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上----- a</li> <li>評価値が80%以上90%未満---- a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満--- b</li> <li>評価値が60%以上70%未満--- b'</li> <li>評価値が60%未満----- c</li> </ul>						
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                  ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>□ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>□ コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>□ 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</p> <p>□ コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>□ コンクリートの打設前に打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>□ 使用する材料の品質が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>□ 橋面舗装が規定に基づいて管理されていることが確認できる。</p> <p>□ 圧接作業にあたり作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□ 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ スパースターの品質及び個数が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>□ プレベーム桁のプレフレクション管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p>□ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ コンクリート圧縮強度の確認は構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</p> <p>□ 有害なクラックが無い。</p> <p>□ その他 (理由: _____)</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認・気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装を使用前に攪拌し容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ・油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の使用量が写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し・ながれ・しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接段階におけるスパッタ（溶接中に飛散するスラグ及び金属粒）溶接後の処理が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部・ボルトの接合部分・構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書・塗料成績表により製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>																																		

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	公園・植栽工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□ 公園施設等の施工は丁寧に行われ傷や破損なく施工されていることが確認できる。 □ 公園施設の設置について承諾図書のとおり施工されていることが確認できる。（位置・寸法・強度・形状・色など） □ 樹木の活着が促されるよう管理していることが確認できる。 □ 樹木などに損傷・はちくすれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 □ 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 □ 適切な量の肥料等が施されていることが確認できる。 □ 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工していることが確認できる。 □ 施工完了後、余剰枝の剪定・整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 □ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 □ 植生する樹木に応じて余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 □ 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 □ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 □ 材料の品質規格証明書やミルシートが整備されている。 □ 材料の保管管理が適切に行われキズ・塗装のはがれ等損傷が無いことが確認できる。 □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） □ コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 □ コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 床掘の施工基面において地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 □ 埋戻時の締固めが適切に行われていることが確認できる。 □ 遊具のボルト・ナット等の締付けが十分であることが確認できる。 □ 遊具の建て込みが歪み等なく適切に施工されていることが確認できる。 □ 袋ナット等使用し安全に配慮してあることが確認できる。 □ その他</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																												
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>理由： _____</p>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																																		

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	防護柵(網) 標識・区画線等 設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱・視線誘導標設置基準・道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵のボルト・ナット等の締付けが十分であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端未支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分・泥・砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示むら(塗料)のみの除去となっており路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の使用量が写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等に適合する証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注：試験結果の打点数等が少なくはらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
		<table border="1"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</td> </tr> </table>					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																														
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																					
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					
		●判断基準																																					
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					

【記入方法】 該当する項目の口にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道管渠工事(開削工)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 管材や埋戻材料などが適正であり、品質規格証明書が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設まで鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり作業員の技量確認を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で品質が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し鉄筋のかぶりを確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削面を必要以上に深く掘削するなど基礎地盤を乱さず適正に管理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削面・埋設物等に異常がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎砂及び中詰砂が適正な施工が行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管渠の接合(挿入長・接合材料・接合手順等)が適正に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 組立人孔の組立図が事前に提出され部材の仕様(サイズ・規格)に誤りがないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 組立人孔の施工(接合方法・可とう継手・ステップ・副管・蓋など)が適切に行われ鉛直に立ち上げられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 取付管施工において適正な施工が行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> インパートが適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧力管の管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 矢板の設置が適切(施工計画との整合・地山との隙間処理(裏込め等))であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面本復旧が適切(材料・仕上厚・密度等)に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のプルフローリングを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面の復旧・舗装が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面の仮復旧が日々良好に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面仮復旧の日々の管理が良好に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果又は事前検査制度の証明書類により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の温度管理を現場到着時・初期締固め前及び交通開放前において行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置・構造物との接合面の処理等が適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって気象条件を配慮していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホール間の中央部等について基準高及び偏位等の管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 近接する埋設物等について管理者と協議の上、試験掘・離隔確保・養生(吊防護・ガイドパイプ設置)が適正に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p style="text-align: center;">理由: _____</p> <p>【薬液注入工の施工がある場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬液注入(圧力・注入量・ゲルタイム・比重・注入時間等)の管理が適正に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 注入材料について搬入量、残数量により使用量(入荷・空袋・空缶確認)の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 注入効果の確認(フェノールフタレイン反応や土質試験等)が行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬液注入による影響を防止するための水質調査について、位置・時期・方法を協議の上、監視体制が確立されていることが確認できる。</li> </ul>						<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																												
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	下水道管渠工事 (推進工) (1/2)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材・埋戻材料・マンホール資材等が適正で写真や品質規格証明書等が整備され規格・品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し鉄筋のかぶり確保している。 <input type="checkbox"/> 掘削面を必要以上に深く掘削するなど基礎地盤を乱さず適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面・埋設物等に異常がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> インパートが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継ぎ手の施工が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仮設工（矢板・ケーシング・ライナープレート等）の施工が適切（施工計画との整合、地山との隙間処理〔裏込め等〕）に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用機械のキャリブレーションが定期的に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削土量と推進量のバランスが適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 薬液注入材が適正であり適切な注入率のもと設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入材が適正であり適切な配合のもと設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘進路線上に沈下測定点を設け一定期間（掘進前・中・後）定期的に計測し沈下が無いことを確認している。 <input type="checkbox"/> 組立人孔の施工（接合方法・可とう継手・ステップ・副管・蓋等）が適切に行われ鉛直に立ち上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吊り込み時・据付時等二次製品の品質に影響なく適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼製及びSUSカラー・ゴム輪等の継ぎ手材料が適正で、かつ適切に施工されていることが確認できる。（TVカメラ調査結果も含む） <input type="checkbox"/> 止水器が適切に設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進滑材・掘削添加材の材料及び数量が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠の接合（挿入長・接合材料・接合手順等）が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鞘管方式の場合、本管据付に係るスペーサーの配置等が適正であり、また、中込材が適切な配合のもと設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進精度の管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 沿道の事前調査が行われており事後調査によって影響がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面の復旧・舗装が適切に行われている。						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注：試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

	<p>下水道管渠工事 (推進工) (2/2)</p>	<p> <input type="checkbox"/> 近接する埋設物等について管理者と協議の上、試験掘・離隔確保・養生（吊防護・ガイドパイプ設置）が適正に行われていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 事前ボーリングの結果は整理され想定地盤と整合していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。  <input type="checkbox"/> その他（理由：_____） </p> <p>【薬液注入工の施工がある場合】</p> <p> <input type="checkbox"/> 注入材の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 薬液注入（圧力・注入量・ゲルタイム・比重・注入時間等）の管理が適正に行われていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 注入材料について搬入量・残数量により使用量（入荷・空袋・空缶確認）の確認ができる。  <input type="checkbox"/> 注入効果の確認（フェノールフタレイン反応や土質試験等）が行われていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 薬液注入による影響を防止するための水質調査について位置・時期・方法を協議の上、監視体制が確立されていることが確認できる。 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。  ③ 評価値（      ％）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </p> </div>		
--	------------------------------------	---	--	--

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道管渠工事 (圧送管)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面の均一な施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりの巻出し厚を管理し締固めが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管理設に転石木片等の異物が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吊り込み時・据付時等二次製品の品質に影響無く適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管切断が直角であり切断面の処理が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 挿入標線の確認・融着及び冷却が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 融着完了の確認がなされている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入材が適正であり適切に注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水圧試験・真空試験等が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> X線による試験を行った場合の異常が無い。 <input type="checkbox"/> 配管接合作業が継手チェックリストにより適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注：試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
90%以上	a	a'	b	b																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
60%未満	b'	c	c	c																																			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>																																					

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	下水道管渠工事 (管渠更生工)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <p>□ 材料の品質が証明書等で確認できる。</p> <p>□ 既設管の劣化状況を事前調査し事前処理を的確に行っていることが確認できる。</p> <p>□ 材料挿入速度を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化・光硬化・熱形成】</p> <p>□ 硬化時に圧力・温度・時間・電源を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化・光硬化】</p> <p>□ 反転時・拡径時に圧力を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化・光硬化】</p> <p>□ 冷却養生時に温度・時間・圧力を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化・光硬化・熱形成】</p> <p>□ 蒸気加熱時に圧力・温度・時間を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱形成】</p> <p>□ 拡径及び冷却時の圧力・時間を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【熱形成】</p> <p>□ かん合継手部分の状態を管理し適正に施工していることが確認できる。【製管】</p> <p>□ 充填材（裏込材）の性状・注入圧力・注入量等を適正に管理しデータシート等を整備していることが確認できる。【製管】</p> <p>□ 材料の端部や接合部の処理・強度・水密性が適切である。</p> <p>□ 現場試験片及びテストピースにより硬化確認ができる。</p> <p>□ 材料が適正に保管されていることが確認できる。</p> <p>□ 注入材料について搬入量、残数量により使用量（入荷・空袋・空缶確認）の確認ができる。</p> <p>□ 耐震性能が証明書等で確認できる。</p> <p>□ 管内洗浄が十分であることが確認できる。</p> <p>□ 管合わせの状態が適切であることが確認できる。</p> <p>□ 管口が適切に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>□ 既設管の状態を確認し補修等行っていることが確認できる。</p> <p>□ その他（理由： _____）</p>						
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>						

●判断基準

	ぼらつきで判断可能			ぼらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注：試験結果の打点数等が少なくぼらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	ため池整備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 材料が設計図書仕様を満足しており品質が証明書類で確認できる。</li> <li>□ 雨水・湧水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。</li> <li>□ 基礎地盤の整形・清掃・湧水処理が適切に実施されていることが確認できる。</li> <li>□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li>□ 刃金土は仕様書等に基づき適切な施工がなされ締固密度も規格値を余裕をもって満足していることが確認できる。</li> <li>□ 法面等が平滑に仕上げられていることが確認できる。</li> <li>□ 旧施設の取壊し・撤去にあたり形状・寸法が確認できるように管理するとともに残存する場合は漏水の原因とならないように適切な処置がなされていることが確認できる。</li> <li>□ 有害なクラックが無い。</li> </ul> <p>【築堤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 施工条件に適した締固め等を適切に行っていることが確認できる。</li> <li>□ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li>□ 築堤に伴う管理試験を適切に行い記録が整理されている。</li> <li>□ 段切り等が施工前に設計図書に基づき適切に施工されていることが確認できる。</li> <li>□ 盛土材料は指定する区域から採取計画に基づき採取し有害物の除去・含水比等について適切な管理がなされていることが確認できる。</li> <li>□ 堤体に接する構造物周辺の盛土・埋戻の施工にあたりコンクリートが所定の強度に達してから施工していることが確認できる。</li> <li>□ 法面保護等の材料のかみ合せ又は裏込材が適切である。</li> <li>□ 法面に有害な亀裂が無い。</li> </ul> <p>【取水施設工・洪水吐工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 基礎地盤の処理を適切に行っていることが確認できる。</li> <li>□ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li>□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</li> <li>□ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li>□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li>□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間・打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び雪中コンクリート等を含む）</li> <li>□ コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li>□ コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>□ 堤体に接する構造物周辺の盛土・埋戻の施工にあたりコンクリートが所定の強度に達したことが確認してから施工していることが確認できる。</li> <li>□ 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>□ スペースの寸法・品質及び個数が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li>□ スペースの材質が確認でき適正に配置し鉄筋のかぶり確保している。</li> <li>□ ゲート等の機能が設計図書との適正性が確認でき証明書が整備されている。</li> <li>□ 推進工の方向・角度が適正で施工上の注意事項（仕様書）が守られている。</li> </ul> <p>【ボーリング・グラウト工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ボーリング工の施工上の注意事項（仕様書）が守られている。</li> <li>□ グラウト工の施工上の注意事項（仕様書）が守られている。</li> <li>□ ボーリング・グラウト工の記録等が仕様書に定められている事項が確認できる。</li> <li>□ その他（理由：_____）</li> </ul>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。                  ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																														
							<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して現地状況を勘察し施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工表面に乱れが無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ボルト等の締付け確認が実施され記録を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないように管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり塗装面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場塗装において温度・湿度・風速等の確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ・油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の使用量が写真等で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗り残し・ながれ・しわ等がなく塗装されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料部・ボルトの接合部分・構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の品質が規格証明書・塗料成績表により製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘察した提案等を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 上部・下部表面の塵・埃等を除去し注入を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面修復の調査箇所がマーキング等を行い写真等で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 防錆作業にあたり鉄筋の錆を除去し施工を行っていることが確認できる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満--- b</p> <p>評価値が60%以上70%未満--- b'</p> <p>評価値が60%未満----- c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	建築工事 (新築・改修)	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されそれが書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が工事写真・施工記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で適切に管理しそれが書類等で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を把握し施工方法等について提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 性能及び機能に関する確認方法が適切であり記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における確認及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備工事等他工事について調整が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事写真・施工記録等において設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 関係諸基準等における材料の確認を行い必要に応じて協議を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図等において利用者に対して使いやすさを考慮している。</li> <li><input type="checkbox"/> 事前調査を行い必要に応じて提案を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> メンテナンスが容易に行えるよう管理資料の作成をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</li> </ul> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上----- a</li> <li>評価値が80%以上90%未満--- a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満--- b</li> <li>評価値が60%以上70%未満--- b'</li> <li>評価値が60%未満----- c</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>								

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	機械設備工事	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 材料・部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。</li> <li>□ 設備の機能及び性能が承諾図書のとおり確保され品質の確認ができる。</li> <li>□ 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い承諾図書として提出していることが確認できる。</li> <li>□ 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され品質の確認ができる。</li> <li>□ 溶接管理基準の品質管理項目について品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>□ 塗装管理基準の品質管理項目について品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>□ 操作制御設備について操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され操作性にすぐれていることが確認できる。</li> <li>□ 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について試験書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>□ 小配管・電気配線・配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li>□ 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</li> <li>□ 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法についてまとめていることが確認できる。</li> <li>□ 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</li> <li>□ 設備の構造や機器の配置が交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li>□ ハルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</li> <li>□ 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</li> <li>□ 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</li> <li>□ 構造物の劣化状況をよく把握して適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li>□ 現地状況を勘案し施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li>□ ボルト・アンカー等の設置が承諾図書のとおり施工されていることが確認できる。</li> <li>□ 名板等を設置し維持管理時への配慮が行われていることが確認できる。</li> <li>□ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が適切であることが確認できる。</li> <li>□ 品質計画による品質管理記録が整備され適切であることが確認できる。</li> <li>□ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li>□ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</li> <li>□ 機器運転の試験結果がまとめられており要求性能が確保されていることが確認できる。</li> <li>□ 不可視部分となる品質が工事写真・施工記録により確認できる。</li> <li>□ 工事写真・施工記録等において設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li>□ 付属品の納品・保管等が不足無く行われていることが確認できる。</li> <li>□ 改修工事の場合、設備の機能が確保できるよう既存構造物のコンクリート強度等の確認等を行っている。</li> <li>□ 設備の設置・接合等について耐震又は耐火性能等を確認し施工している。</li> <li>□ 製造者による試験が的確に行われ設計図書等に適合する証明書が整備されている。</li> <li>□ その他</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">（理由： _____）</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、かし担保による修補又は損害賠償請求を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		<p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上----- a</li> <li>評価値が80%以上90%未満---- a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満--- b</li> <li>評価値が60%以上70%未満--- b'</li> <li>評価値が60%未満----- c</li> </ul>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                  ③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ）                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電気設備工事	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 製作着手前に品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の品質・機能及び性能が設計図書を満足して成績書にまとめられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され操作性に優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ不具合が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が設計図書の仕様を満足しているとともに必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において工場試験などで確認していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕・改造・更新含む）の場合・修正又は更新）していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の構造において点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 改修工事の場合、設備の機能が確保できるよう既存構造物のコンクリート強度等の確認等を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の設置・接合等について耐震又は耐火性能等を確認し施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が工事写真・施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事写真・施工記録等において設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所等の表示等が明確で解りやすい。</li> <li><input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ設計図書等に適合する証明書が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他（理由：_____）</li> </ul> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上----- a</li> <li>評価値が80%以上90%未満---- a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満--- b</li> <li>評価値が60%以上70%未満--- b'</li> <li>評価値が60%未満----- c</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。                  ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>								

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																							
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	通信設備工事 受変電設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
	<p>●評価対象項目</p> <p>【電気】</p> <p>□ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p>□ 材料及び構成部品の品質及び形状について設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。</p> <p>□ 材料の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 設備・機器の品質・機能及び性能が成績等で確認でき設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ不具合が無いことが確認できる。</p> <p>□ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p>□ 完成図書において設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>□ 完成図書において単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>□ 設備全体及び各機器において設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p>□ 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p>□ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>□ 設備の構造において点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>□ その他（理由：_____）</p>																														
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満---- b</p> <p>評価値が60%以上70%未満---- b'</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>																													
上記以外の工事 (情報ボックス、 浚渫工等)又は合併工事	<A>	a	a'	b	b'	c	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
	<B>	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</p> <p>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつき判断は別紙-4参照。</p>																													
		<p>●評価対象項目</p> <p>□ 理由：_____</p>																													
		<p>●判断基準</p> <p>&lt;A&gt;対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ex) 浚渫工、取壊し工等</p> <p>該当項目が90%以上----- a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満---- a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満---- b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満---- b'</p> <p>該当項目が60%未満----- c</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																													
		<p>&lt;B&gt;対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <p>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値（%）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ）</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			50%以下	80%以下	80%超	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b	c	c
評価値	ばらつきで判断可能																														
	50%以下	80%以下	80%超																												
90%以上	a	a'	b																												
75%以上90%未満	a	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c																												
60%未満	b	c	c																												

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> クラックが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 漏水が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 取付け水路、樹など小型構造物の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面にジャンカがなく、密実で空気アバタも少ない。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の仕上げ点検が行われている。(セパ穴の埋め忘れ・詰めモルタルの浮き上がり・釘・番線がない)</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当6項目以上----- a</li> <li>該当5項目----- b</li> <li>該当4項目----- c</li> <li>該当3項目以下----- d</li> </ul>	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当4項目以上----- a</li> <li>該当3項目----- b</li> <li>該当2項目----- c</li> <li>該当1項目以下----- d</li> </ul>	
	切土工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山との取り合いが適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当6項目以上----- a</li> <li>該当5項目----- b</li> <li>該当4項目----- c</li> <li>該当3項目以下----- d</li> </ul>	
	護岸・根固・水制工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当4項目以上----- a</li> <li>該当3項目----- b</li> <li>該当2項目----- c</li> <li>該当1項目以下----- d</li> </ul>	
	鋼橋工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 細部の仕上げ及び取り合いが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上----- a</li> <li>該当4項目----- b</li> <li>該当3項目----- c</li> <li>該当2項目以下----- d</li> </ul>	
	地すべり防止工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが同える。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当3項目以上----- a</li> <li>該当2項目----- b</li> <li>該当1項目----- c</li> <li>該当項目なし----- d</li> </ul>	

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> ヘアクラックがない、表面仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当6項目以上----- a</li> <li>該当5項目----- b</li> <li>該当4項目----- c</li> <li>該当3項目以下----- d</li> </ul>	
	法面工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 法肩の処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 取付け部の処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 表面の仕上がりが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上----- a</li> <li>該当4項目----- b</li> <li>該当3項目----- c</li> <li>該当2項目以下----- d</li> </ul>	
	水道工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 漏水がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 弁・栓及び鉄蓋等の傾き・ガタツキがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物のすりつけがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 公共物としての安全性・環境・維持管理への配慮が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 弁・栓類のカラー鉄蓋及び内部が清掃されており、サビが無く塗装がきれいである。</li> <li><input type="checkbox"/> ボックス内に漏水が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 添架金物・歩行防止柵の構造・位置が設計どおりで適切に設置してある。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻が念入に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当6項目以上----- a</li> <li>該当5項目----- b</li> <li>該当4項目----- c</li> <li>該当3項目以下----- d</li> </ul>	
	コンクリート橋上部工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> クラックが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上----- a</li> <li>該当4項目----- b</li> <li>該当3項目----- c</li> <li>該当2項目以下----- d</li> </ul>	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 各層の塗装状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断基準</li> <li>該当5項目以上----- a</li> <li>該当4項目----- b</li> <li>該当3項目----- c</li> <li>該当2項目以下----- d</li> </ul>	

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	公園・植栽工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 水はけよく地均し転圧され、植地（芝地含む）の仕上げが良い。（雑草処理含む） <input type="checkbox"/> 樹木に傷、折れが無い。 <input type="checkbox"/> 根元周辺の埋戻が良い。 <input type="checkbox"/> 植栽の配置・通りが適切である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d	
	防護柵（網）工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎及び埋戻が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の通り及びたてりが良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆及び変色が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d	
	区画線工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	下水道管渠工事 (開削工)	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> 管渠やマンホールに破損・クラックがない。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> インパートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋及び他の構造物へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 管渠内の清掃状況が良好である。 <input type="checkbox"/> マンホール内の仕上げが良く、漏水及び浸入水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当7項目以上----- a 該当6項目----- b 該当5項目----- c 該当4項目以下----- d	
	下水道管渠工事 (推進工)	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良く漏水がない。 <input type="checkbox"/> 管渠やマンホールに破損・クラックがない。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、マンホール蓋等へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。 <input type="checkbox"/> マンホール内の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> インパートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 管渠内の清掃状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当7項目以上----- a 該当6項目----- b 該当5項目----- c 該当4項目以下----- d	
	下水道管渠工事 (管・マンホール更生工事)	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> 既設の管・マンホールと更生部材との隙間充填が良好である。 <input type="checkbox"/> 管やマンホール内の仕上げが良く漏水がない。 <input type="checkbox"/> マンホール内・蓋の清掃が行われている。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋のがたつき無い。 <input type="checkbox"/> 取付け管口処理の状態が良い。 <input type="checkbox"/> しわの発生が無い(既設管の形状に起因する場合を除く。) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d	

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	建築工事 (新築・改修)	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、色調が均一でむら等がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体的に調和が良い仕上がりである。		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	
	機械設備工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部において配慮がされ、キズ等が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	
	電気設備工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作・制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすい。		<b>●判断基準</b> 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d	
	通信設備工事 受変電設備工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d	

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

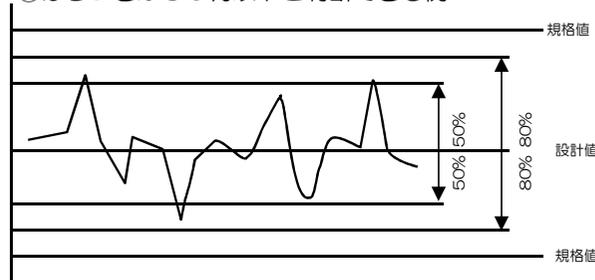
考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	橋梁修繕工事（橋脚補強、耐震補強、落橋防止等）	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 施工表面の状態が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表目に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 細部の仕上げ及び取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			<p>●判断基準</p> 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d
	ため池整備工事	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 漏水、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  <p>【築堤工関係】</p> <input type="checkbox"/> 既設構造物等へのすりつけが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 法面保護の材料のかみ合わせが良い、また植生等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 土取場の整理、残土等は適切に処理されている。  <p>【取水施設工・洪水吐工関係】</p> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細かな施工がなされている。			<p>●判断基準</p> 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d
	上記以外の工事 又は 合併工事	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。			<p>●判断基準</p> 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d

1. 出来形及び品質のばらつきのか考え方（社内管理基準を定めている場合は、社内管理基準に対するばらつきで判断する。）

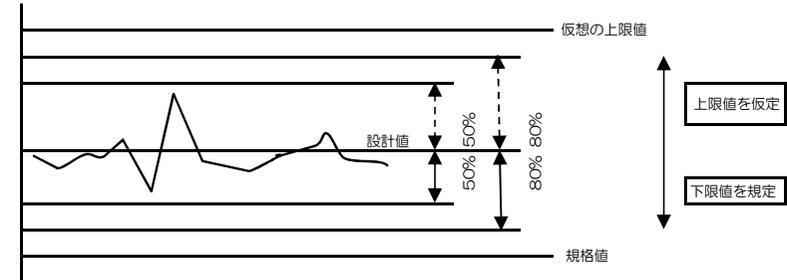
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

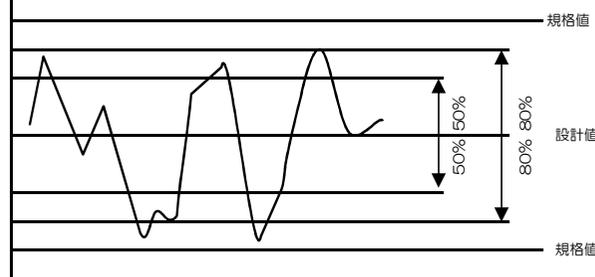
①ばらつきが50%以下と判断できる例



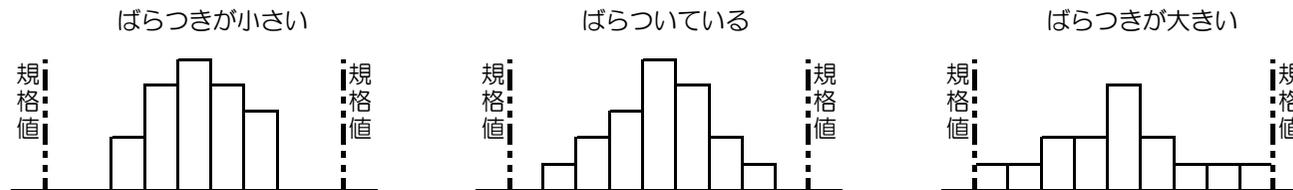
(下限値のみの場合)



②ばらつきが80%以下と判断できる例



[度数表またはヒストグラムの場合]



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、向上で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は、「合併工事」欄を活用する。

部長	課長	係長	課員	合 議

監理課

課長	係長	課員

### 市内業者等の活用・育成についての報告書

工事名	
工事場所 府中市 町	
工期 自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日	請負代金額  円
報告する項目 <input type="checkbox"/> 市内下請 <input type="checkbox"/> 直営施工 <small>(市内業者へ発注した土木一式工事及び舗装工事)</small> (該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。)	
下請総額  円	市内下請総額  円
備考(監理課記入欄)	

下請負業者	営業所の所在地		下請負部分の内容	下請負金額	下請区分	
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降

※当初工事請負代金額が500万円以上の建設工事において、対象となる場合に提出して下さい。  
 ※工事成績評定「9市内業者等の活用・育成」における評価対象とします。

上記のとおり報告します。

平成 年 月 日

受注者  
住所

名前 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

府中市長様

